

我々はどこから来たのか？
我々は何者か？
我々はどこへ行くのか？

2007/8/5

華和梨開発チーム
さとー

Site: <http://kawari.sourceforge.net>

Blog: <http://d.hatena.ne.jp/satos/>

Mail: shobu@users.sourceforge.net

講演のねらい

ゴーストの過去・現在・未来を、私の視点から俯瞰します



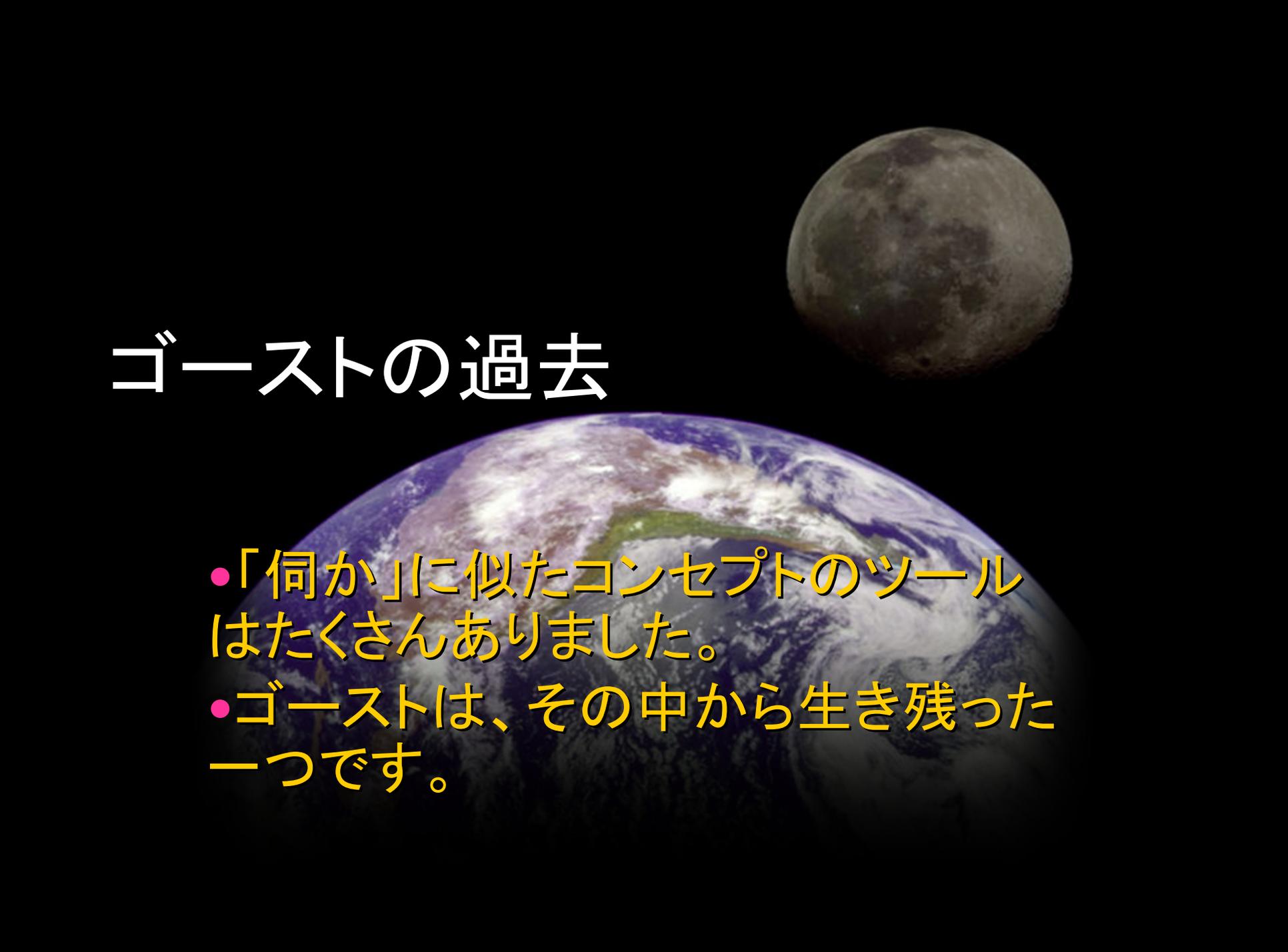
“われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか”（ポール・ゴーギャン、1897）

概要

- ゴーストの過去
- ゴーストの現在
- ゴーストの未来



ゴーストの過去

A composite image showing the Earth in the foreground and the Moon in the background against a black sky. The Earth is partially visible, showing blue oceans and white clouds. The Moon is a large, grey sphere with visible craters and maria.

- 「伺か」に似たコンセプトのツールはたくさんありました。
- ゴーストは、その中から生き残った一つです。

過去(1)



ゴースト誕生前夜、いくつかの流れがありました

- 人工無脳
 - キャラクタ絵なし
- デスクトップマスコット
 - 知能的要素なし(が多い)

合流



- 仮想人格処理系(ペルソナウェア)
 - キャラクタ絵あり、知能的要素あり
 - 作者層の裾野を広げた

触発



ゴースト
(偽春菜)

過去(2)

- 伺か(「偽春菜」も含むとする)前夜には、ペルソナウェアの他にも、「仮想人格処理系」が多数ありました。

現存する例:

- **PD-Character 「悠」** ……電子秘書重視
- **Heart Projects** ……対人会話重視



過去(3)



- ゴーストが普及し、今日まで生き残った理由は多々あります。
- ここでは、ゴースト作者の視点でいくつか挙げるに留めます。
 - 仕様がオープンかつフリーだった
 - 「リアルタイム開発」で、参加者が連帯した
 - 常に「誰でも作れて、自由度は高く」の方向で開発が進み、裾野が非常に広がった

仕様がオープンかつフリー



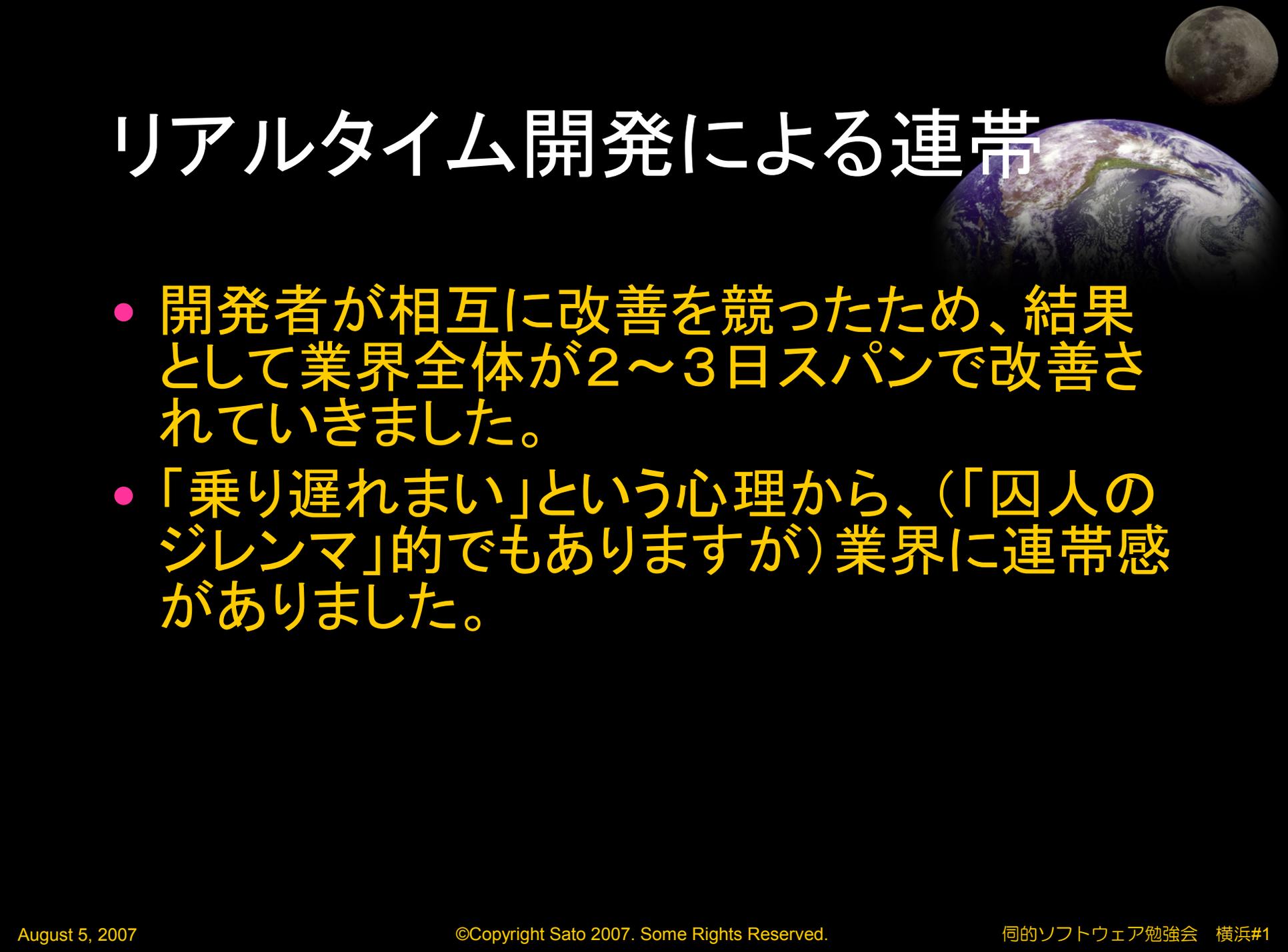
- 誰でも自由に参入できたため、トラブルによる開発停止が極めてまれでした。

例:「あれ以外の何か(伺かの前身)」配布停止

- 最初の栞(言語エンジン)は1ヵ月以内に3種類以上公開開始
- 最初の互換処理系(**SSP**)は3週間以内に公開開始

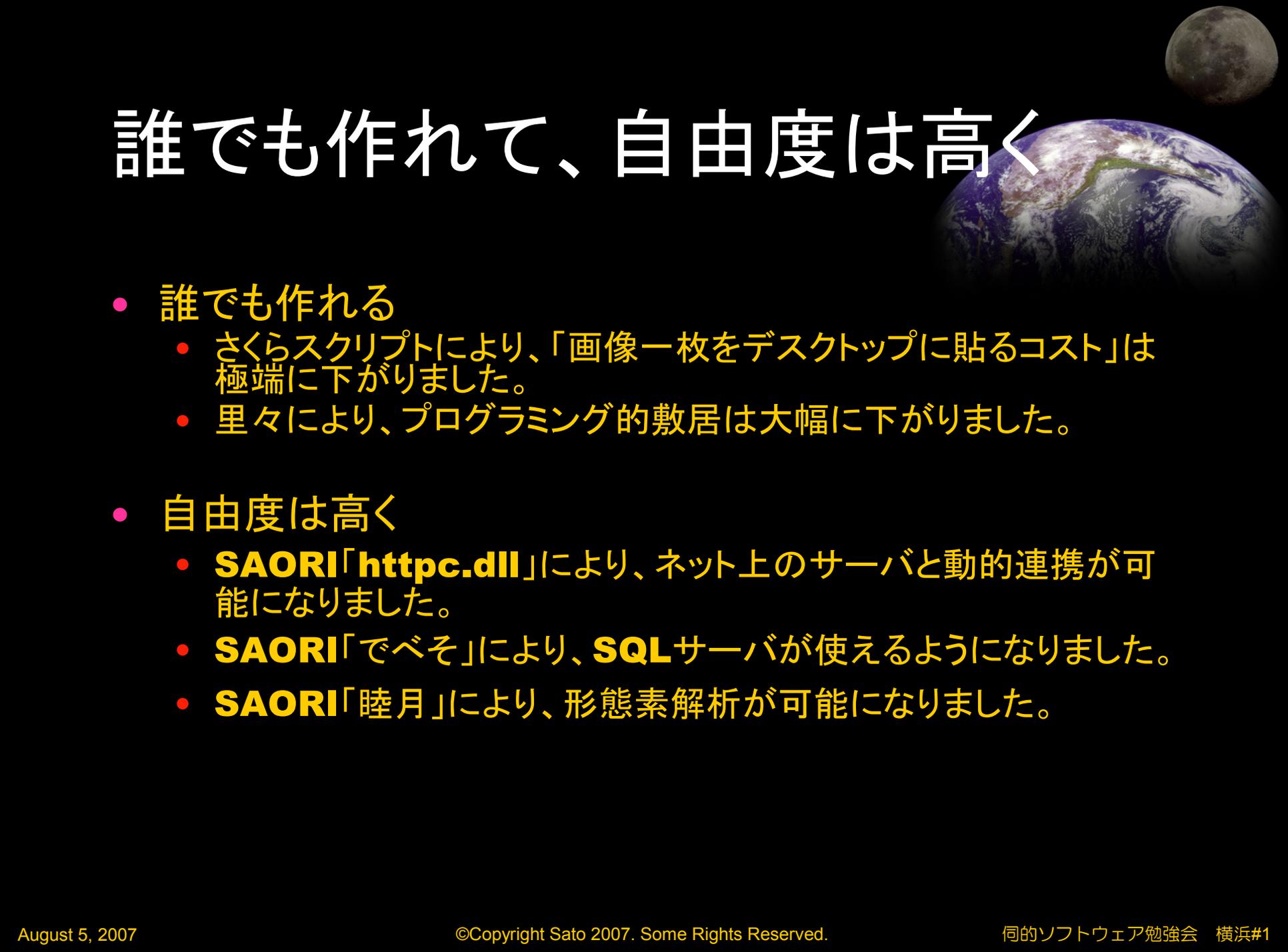
例:**SSP**、**ninix**、華和梨、里々、文等のプログラムは、原作者が更新を停止したにもかかわらず、未だに開発継続中

リアルタイム開発による連帯



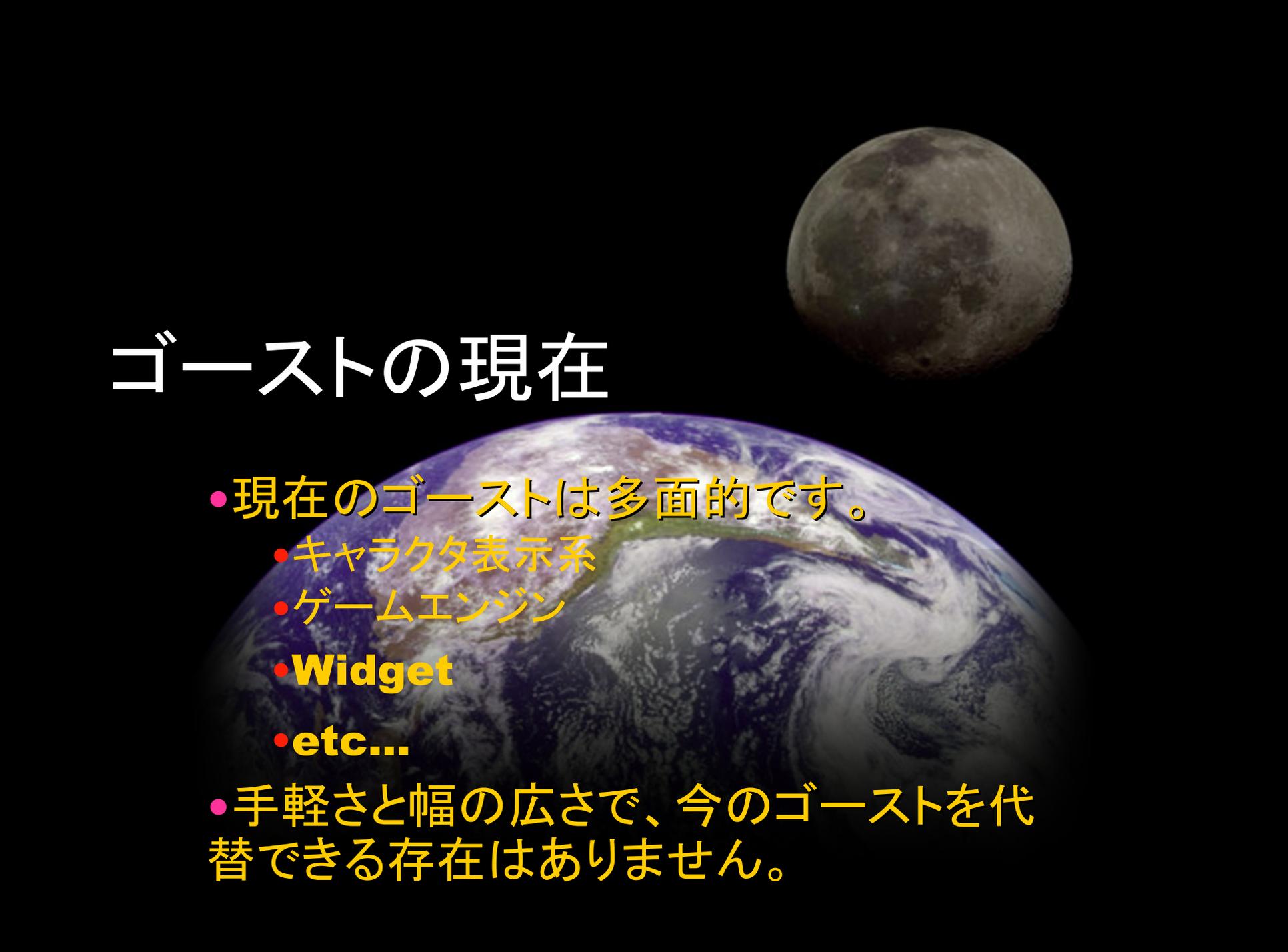
- 開発者が相互に改善を競ったため、結果として業界全体が2～3日スパンで改善されていきました。
- 「乗り遅れまい」という心理から、「囚人のジレンマ」的でもあります。業界に連帯感がありました。

誰でも作れて、自由度は高く



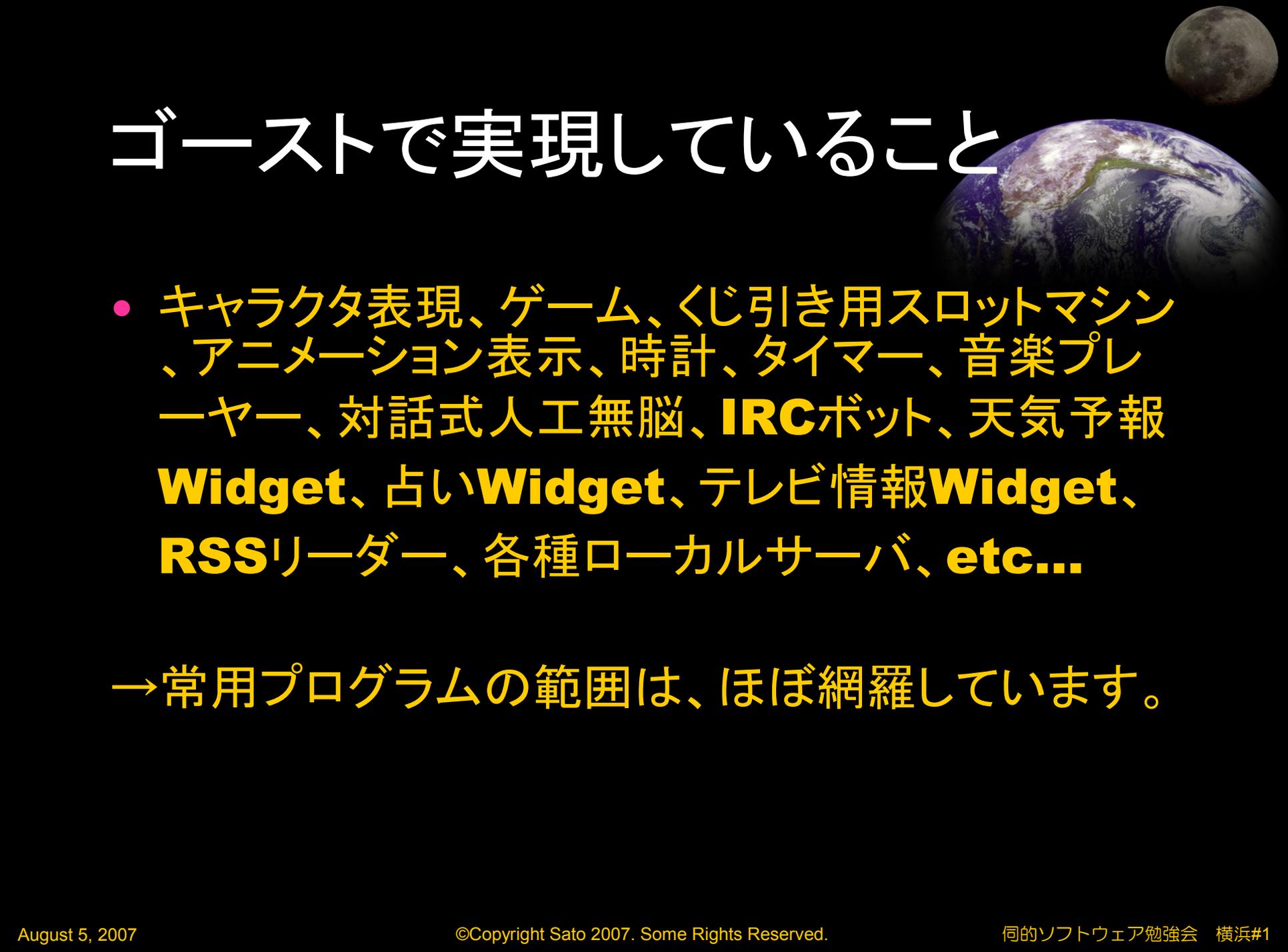
- 誰でも作れる
 - さくらスクリプトにより、「画像一枚をデスクトップに貼るコスト」は極端に下がりました。
 - 里々により、プログラミング的敷居は大幅に下がりました。
- 自由度は高く
 - **SAORI**「**httpc.dll**」により、ネット上のサーバと動的連携が可能になりました。
 - **SAORI**「**でべそ**」により、**SQL**サーバが使えるようになりました。
 - **SAORI**「**睦月**」により、形態素解析が可能になりました。

ゴーストの現在



- 現在のゴーストは多面的です。
 - キャラクタ表示系
 - ゲームエンジン
 - **Widget**
 - **etc...**
- 手軽さと幅の広さで、今のゴーストを代替できる存在はありません。

ゴーストで実現していること



- キャラクタ表現、ゲーム、くじ引き用スロットマシン、アニメーション表示、時計、タイマー、音楽プレーヤー、対話式人工無脳、**IRC**ボット、天気予報**Widget**、占い**Widget**、テレビ情報**Widget**、**RSS**リーダー、各種ローカルサーバ、**etc...**

→常用プログラムの範囲は、ほぼ網羅しています。

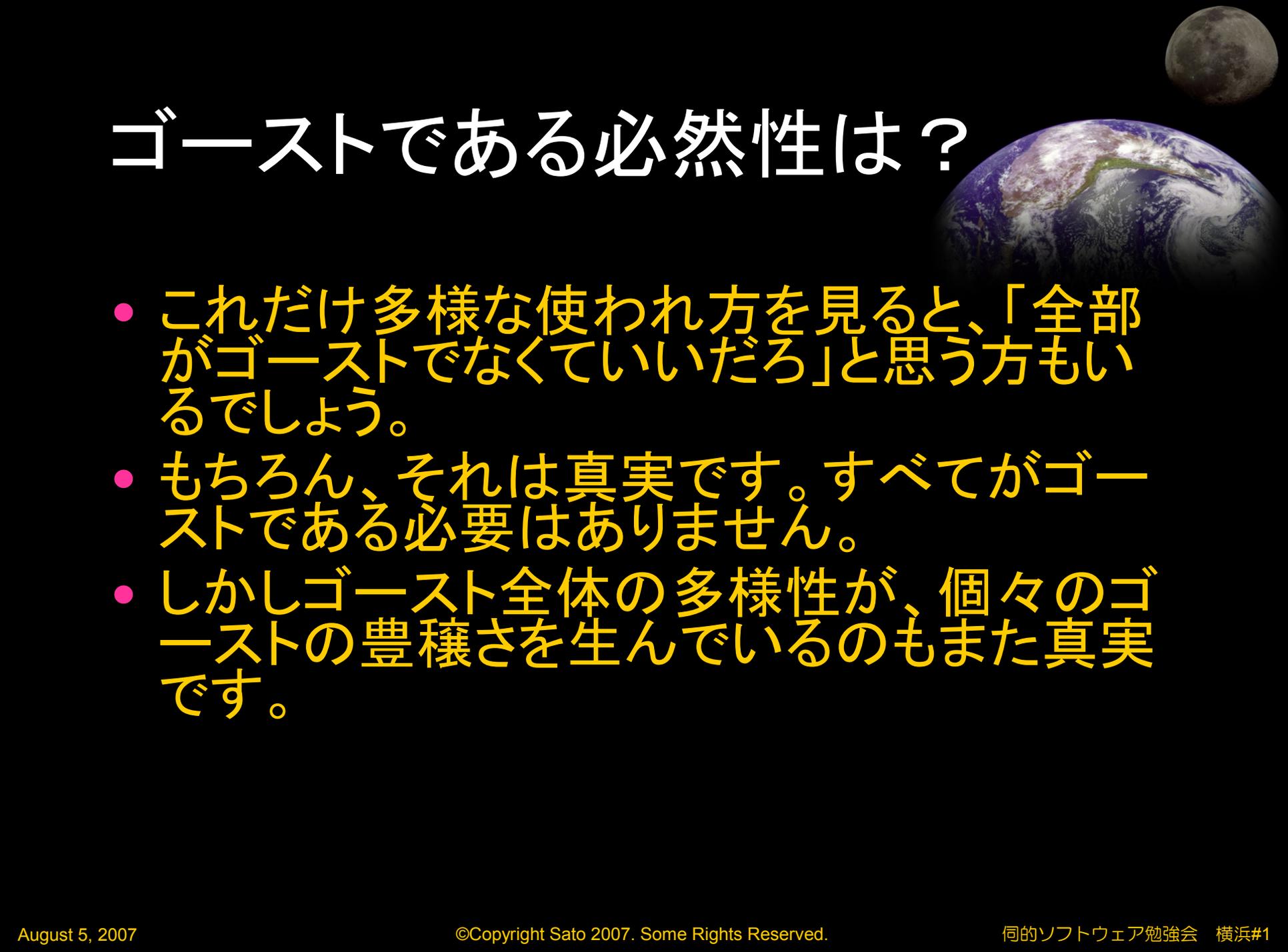
ゴーストを他の手段で実現



- どの手段でも、全体カバーは難しいです。
 - **HSP**: **SHIORI**的トーク記述法が不在
 - **Flash**: リージョン表示が困難
 - **Nscripter**: ウィンドウ内表示に特化
 - 吉里吉里: **SHIORI**的トーク記述法が不在
 - なでしこ: リージョン表示なし?
 - 汎用言語: (相対的に)学習コストが高い
 - **Widget**: 言語が実質**Javascript**のみ
 - ブラウザ: リージョン表示が困難

→ゴーストは「Only One」な手段です。

ゴーストである必然性は？



- これだけ多様な使われ方を見ると、「全部がゴーストでなくていいだろ」と思う方もいるでしょう。
- もちろん、それは真実です。すべてがゴーストである必要はありません。
- しかしゴースト全体の多様性が、個々のゴーストの豊穡さを生んでいるのもまた真実です。

多様性(1)



- 事例: **Sound Player Ghost "FLELE"**
 - 音楽再生機能自体は、ゴーストによく付いています。
 - 当然、専用音楽プレイヤーが存在します。
 - しかし「音楽プレイヤーゴースト」となった時、「シェルによる外見切換」「かわいい外見」「バルーンをメニューに」「完成度の高い動作」が相乗効果を生み、新しい価値を持つ作品となりました。

多様性(2)



- 事例: **"The Hand"**

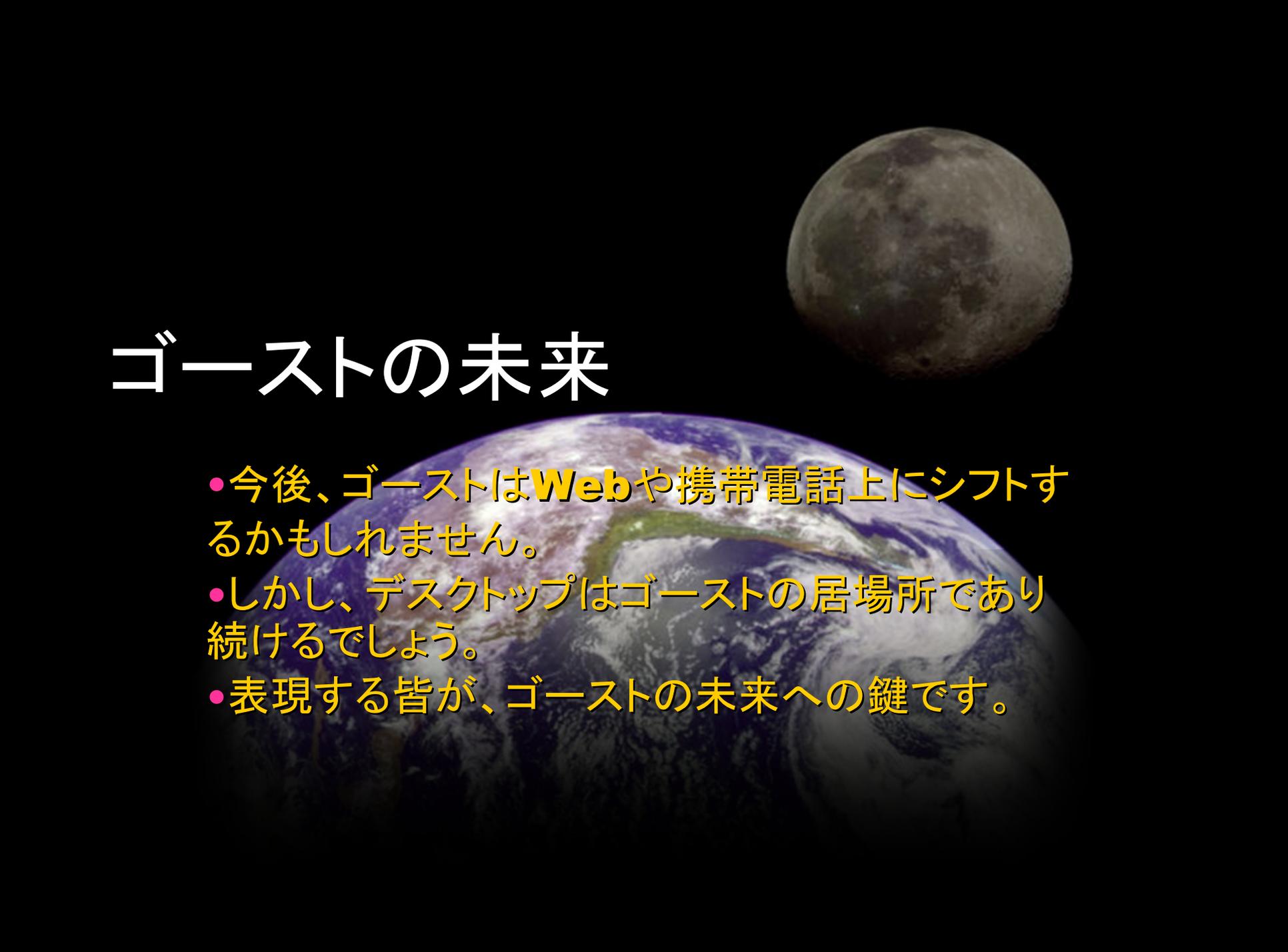
- ゴーストを触ってセクハラすることは、(倫理的にはどうかと思いますが)一般的です。
- 「ゴーストを」「ゴーストが」セクハラするというバリエーションをつけた結果、「**Hand文化圏**」と呼べるほどの、愉快的ゴースト間コミュニケーションの一大ネットワークが誕生しました。
- 「**DirectSSTP**をゴーストから送信する」という技術バックボーン(通称:「手の遺伝子」)が、この文化圏を支えています。

でも、それだけでいいの？

A composite image showing the Earth and the Moon. The Earth is in the foreground, showing blue oceans and white clouds, with a portion of the Moon visible in the upper right corner against a black background.

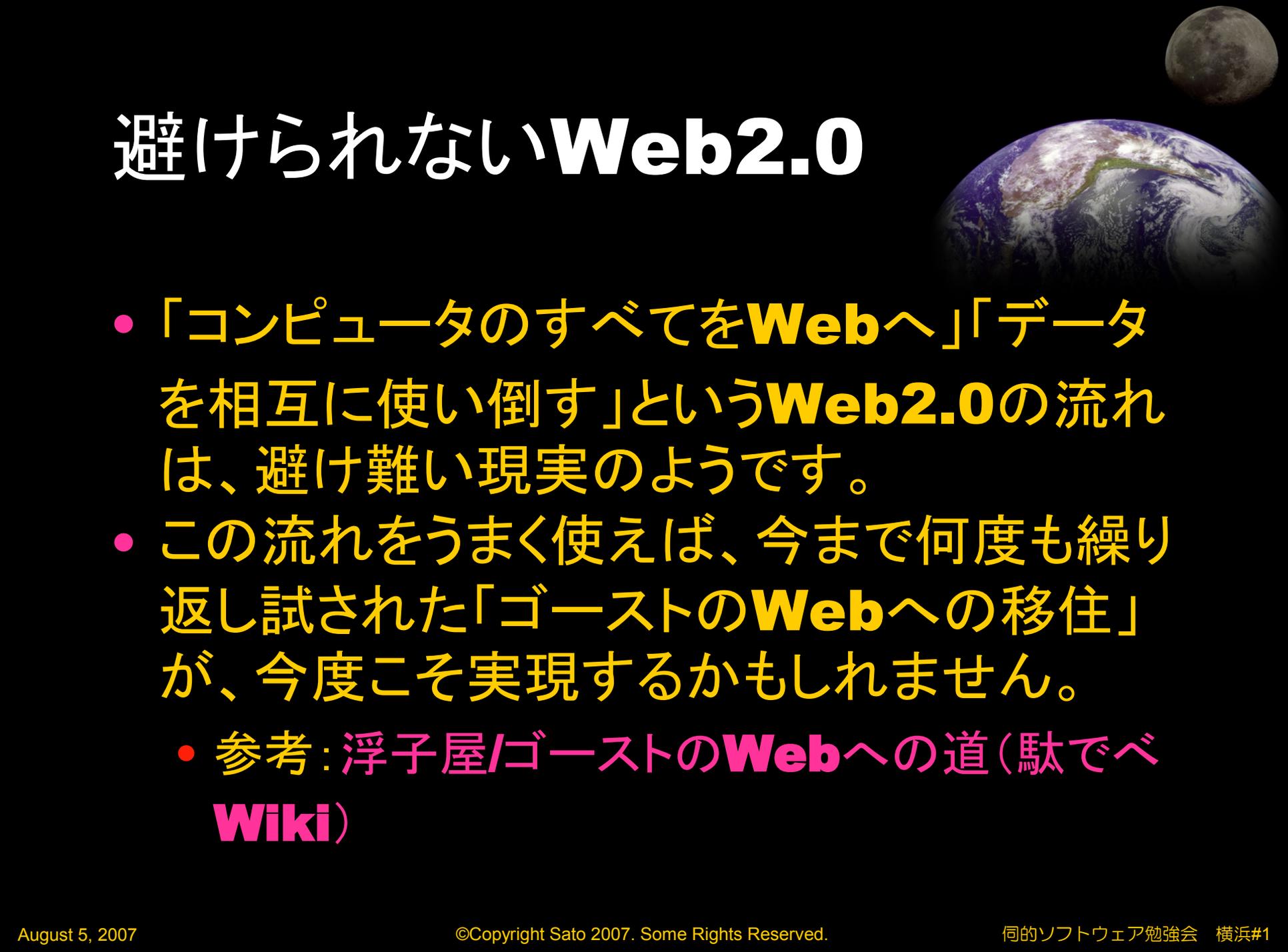
- 多様性は重要ですが、一方ではじめて知る人にとって、分かりにくさを生んでいるのも事実のようです。
- しかし、必要なのは「多様性の抹殺」「業界の分割」ではなく、「多様な切り口の説明文」でしょう。
- 何度でも、様々なアプローチで、入門者向け紹介を書くべきでしょう。
- 「誰でも作れる」「誰でも楽しめる」が、ゴーストのもう一つの流れなのですから。

ゴーストの未来

A composite image of Earth and the Moon in space. The Earth is in the foreground, showing a curved horizon with blue oceans, white clouds, and green landmasses. The Moon is in the background, appearing as a large, grey, cratered sphere against the blackness of space.

- 今後、ゴーストは**Web**や携帯電話上にシフトするかもしれません。
- しかし、デスクトップはゴーストの居場所であり続けるでしょう。
- 表現する皆が、ゴーストの未来への鍵です。

避けられない**Web2.0**

A composite image of Earth and the Moon in space. The Earth is shown in the lower right, with a blue and white cloud cover. The Moon is in the upper right, appearing as a dark, cratered sphere against the black background of space.

- 「コンピュータのすべてを**Web**へ」「データを相互に使い倒す」という**Web2.0**の流れは、避け難い現実のようです。
- この流れをうまく使えば、今まで何度も繰り返し試された「ゴーストの**Web**への移住」が、今度こそ実現するかもしれません。
 - 参考：浮子屋/ゴーストの**Web**への道（駄でべ**Wiki**）

より人の生活に密着

- 携帯電話上にゴーストが移住すると、人の生活により密着したイベント対応が出来るかもしれません。
- このアイデアも、今まで何度も繰り返し試されてきました。
- この試みは、今度こそ成功しそうです
 - 参考：**Pocket DAE**



でも、それが全てじゃない



- ゴーストの多様性は、**Web**と携帯電話だけではカバーできません。
- ゴーストは、「人を〇〇に立てる」表現法です。
- 人らしい表現には、存在の背後にある歴史の積み重ねが重要です。
- しかし今の**Web**の潮流では、「歴史の積み重ね」が評価されにくいです。
- こうした「人らしさ」を追及するなら、あえてデスクトップに居残るのはどうでしょう。

ゴーストの未来への鍵

A composite image showing a view of Earth from space, with the Moon visible in the upper right corner. The Earth is partially illuminated, showing blue oceans and white clouds. The Moon is a dark, cratered sphere.

- 鍵は、ゴーストを使う人/作る人、そして、これを読んでいる「あなた」です。
- 未来は、自分達で拓くしかありません。
- 一人ではありません。一緒に挑戦している人たちがいます。
- 一緒に挑戦しましょう！

御清聴ありがとうございました



Copyright



- 画像「われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか」(ポール・ゴーギャン、**1897**)
 - …パブリックドメイン(著作者死後**70**年以上経過)
- 背景画像「地球と月」(**NASA**)
 - …パブリックドメイン(非営利目的の場合)
- 上記以外の本資料の内容
 - …**Creative Commons**ライセンスの「表示 **2.1** 日本」と同じ扱いとします

参考文献



- 人工無脳は考える
 - <http://www.ycf.nanet.co.jp/~skato/muno/>
- 何か。の略歴
 - <http://www3.to/nobml/sakura/>
- **Chararina** (旧「ペルソナウェア」)
 - <http://www.praesens.co.jp/pws/>
- **HeartProjects – teratti** 支部
 - <http://www.teratti.jp/heart/>
- **PD-Character** 「悠」
 - <http://www.hoshimi.net/>